

2016年度

CCC  
コミュニティ・コラボレーションセンター

# 活動報告



コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC)は、大学の理念「違いを共に生きる」に込められた思いを基に、「地域に根差し、世界に開く」という姿勢で教育・支援を行うセンターです。学生が地域の様々な人と幅広い活動に励み、生きた学びを得て成長するようにサポートしています。2016年度の活動の一部を、以下の通り報告します。

## CCC開設10周年記念行事「コラボメッセ」

昨年に引き続き、10月15日、CCCに所属する学生団体と企業、行政機関、NPOなどが一堂に会するイベント「コラボメッセ」を開催しました。今年度はCCC開設10周年でもあり、3人の歴代卒業生から「ボランティアから描く人生デザイン」について、体験談を交え熱く語ってもらいました。団体同士の交流だけでなく、これまでの歩みを振り返る場となりました。



## CCC開設科目

今年度から新たに開講した「企画立案の基礎」は、大学の各部署や名古屋市内の企業、行政機関、NPO等と連携し、提示された課題の解決策について企画立案を行う授業です。それぞれの連携先に対し、チーム一丸となって課題解決に取り組みました。

CCCでは地域の社会貢献活動に学生が段階的にチャレンジできるよう、様々な体験学習ができる授業を開講しています。

### 連携先一覧

- 愛知淑徳大学アドミッションセンター
- 株式会社レオパレス21
- NPO法人楽歩
- NTTタウンページ株式会社
- 有限会社スパゲッティヨコイ
- 名古屋市総務局企画部大学政策室



## 学生の活動

CCCでは学生の自主活動を支援しています。今年度も様々な分野で活躍しました。

### ● かがやけ☆あいちサスティナ研究所



企業から提示される環境問題に対し、大学生が研究員となって継続的なエコアクションを提案するといった愛知県主催のプロジェクトに、5人の学生が参加しました。長期間にわたる現場での調査や企業担当者とのディスカッションを経て、解決策の成果を、企業や一般の方など大勢の前で発表しました。

### ● 長久手市市内一斉防災訓練



長久手市で年に1度実施されている防災訓練にて、「防災」に関心がある学生がチームを結成し、防災カルタ、KYN(危険予知能力)チェック、避難袋づくり体験を実施しました。約40人の子どもが参加してくれました。